

# 島根原発不適切入構 徹底した再発防止を

## 福住氏、尾村県議ら県に要請

日本共産党の福住ひでゆき参院鳥取・島根選挙区予定候補は5月16



日、尾村利成県議とともに、中国電力島根原発で10日に不適切な入城事案が発生した問題で、県へ申し入れを行いました。舟木健治、橘ふみ両松江市議が同席しました。(写真)

中電によれば、原発に一時立入として入城する際は、事前に申請した上で公的身分証明書を用いた本人確認を実施し、入城することとしています。が、「この度の事象は当該者が公的身分証明書の有

効期限を自ら書き換えて使用し入城した」としています。

福住、尾村の両氏は、今回も中電が偽造を見落とした不適切事案にほかならず、県民に不安が広がっているとし、「中電の原発構内への入構者管理に甘さがあり、原発のテロ対策や安全対策が不十分であることを改めて露呈した」と強調。▽今回の不適切な事案発生の際、徹底した原因究明と再発防止対策を中電が策定し、県民への説明責任を果たさせること▽安全管理ルールを審査する原子力規制委員会の「保安

規定認可申請」の審査が終わるまで2号機再稼働の判断は行わないことなどを要請し、拙速に2号機再稼働に同意しないよう求めました。県防災部

## 軍事費増は暮らし圧迫 福住氏、地方議員を先頭に訴え

参院選で、にひそうへい前参院議員をはじめ、日本共産党の比例5議席必ずと、中国5県の党組織は5月20日を中心に各地でいっせいの宣伝に取り組みました。松江市では、尾村利成県議、舟木健治、橘ふみ両市議らが宣伝し、「原発ゼロ、消費税減税、平和

の周山幸次長は「中電には、安全対策を講じてもらうとともに原因を究明し、再発防止にしっかりと取り組んでもらいたい」と答えました。

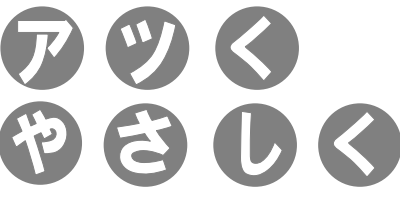
と暮らしを守り、反戦平和をつらぬく日本共産党を参院選で躍進させてください」と訴えました。尾村県議は、新型コロナウイルスやウクライナ侵略、アベノミクスの失政による異常な円安が物価高騰を招いたと指摘。業者から「材料代が2〜3割上がり、商売の展望が持てな

## 比例5議席へ 参院選勝利の先頭に

今年1月、闘病の末、81歳でその生涯を閉じられた先輩、林とし子元参院議員。ご出身は群馬県ですが、広島で長



## 大平よしのぶ 前衆議院議員



お世話になりました。林さんの国会での活躍をあらためて学び直すために議事録を読んでみると、そこには普段接してきたあの穏やかで優しい林さんからは想像できないほどの、一歩も引かない闘志あふれる姿がありました。

一番印象に残ったのは、被爆50年の1995年、予算委員会での核兵器廃絶について取り上げた質問です。日本政府の「核兵器の究極的廃絶」という途方もない先

送り論を正面から批判

し、被爆者の声を当時の河野洋平外務大臣に直接ぶつけながら「アメリカの言い分に、この被爆国の日本が同調するなんていうことは絶対許せない！」と、林さんは満身の怒りを込めて訴えました。委員会室の絵が浮かんでくるような、手に汗握る圧巻の論戦でした。

その他にも、JR可部線の廃線阻止やコメの輸入自由化反対、大学生の学費値下げなど、広島の願いと国民の声を届け、国会の内外で平和と暮らしを守るために大奮闘された林さん。本当に大きな実績を積み上げてこられたことに、限りない感謝と敬意の思いでいっぱいです。先日の中国新聞に、日

## 医療・介護 賃上げ要望

### 島根県医療労連が県に署名提出

島根県医療労働組合連合会は5月24日、県に対して、安全・安心の医療の実

現のために、すべての医療・介護現場で働く職員の賃上げを求めて要請しました。今年4月から集めた署名2257人分を提出しました。



県庁を訪れた森山篤士委員長(介護福祉士)ら4氏は、2月から始まった政府の賃上げ制度では対象が限定され、現場に分断と不協和音を招き、チームワークが保てなくなっている

と指摘。▽職種や職場で限定せず、すべてのケア労働者の処遇改善▽月額4万円以上、時給250円以上の引き上げの2点を求め、「命を預かる社会的な責任にふさわしい賃金に引き上げを」と要望しました。

## にひさんとトーク ~話す、つながる、変えていく~

6月11日(土)10:30~11:30

オンライン

お話

にひそうへい(前参院議員)

倉林明子(参院議員/党ジェンダー平等委員長)・・・ビデオメッセージ

福住ひでゆき(党鳥取・島根国政対策責任者)

主催：日本共産党島根県女性後援会、鳥取県女性後援会

参加会場は 島根県民会館303会議室 ほか

参加した医療・介護従事者は「使命感、責任感だけでは仕事を続けることができず、離職する職員も増えている」などの実情を語り、「新型コロナから県民の命を守るためにも、職員の大増員や夜勤改善など、勤務環境改善も喫緊の課題だ」と強調しました。県健康福祉部・医療政策課の内部宏課長、高齢者福祉課の岡本成生課長、障がい福祉課の山下弘之課長は「コロナを乗り越えるためにはチームワークが大事です」と述べ、「処遇改善につながるよう、引き続き、国に効果と課題の検証を求めたい」と応じました。

要請には、日本共産党の尾村利成県議、舟木健治、橘ふみ両松江市議が同席しました。(写真)

(5月28日記)